

事業所向け 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 令和6年 3月 15日

事業所名 オハナピース新所沢

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	利用人数が多い日は、部屋を分けての活動を行う事がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	10	0	0	当事業所には教員免許や保育士資格を有している職員が在籍しています。また、安心して預けて頂けるよう、十分な職員の配置、専門性を高める研修等も毎月行っております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2	0	玄関の出入りに段差があるため、車いすや肢体不自由児の利用には留意しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	2	0	毎朝ミーティングを行い、目標設定や情報の共有、振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2	0	集計結果を元に話し合い、ニーズの把握、業務改善に繋げていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0	事業所の入口に掲示を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	1	現在は行ってませんが、今後必要に応じて検討したい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	月に1度の社内研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	見学や契約時に保護者様から本人様の状況やニーズなどを伺っています。また、定期的に面談も実施。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	アセスメントシートを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4	0	今後も、子どもたちが楽しめる活動を考えていきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	4	1	今後も、子どもたちが楽しめる活動を考えていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	1	当日の利用人数や、利用児童に応じて設定を決めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2	0	児童の状況に応じて個別活動や集団活動を組み合わせさせて支援を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	当日出勤職員での打ち合わせを行う時間を設けている。
⑯	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	当日出勤職員での振り返りを行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3	0	申し送りノートを活用し、共有を行っている。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	3	0	毎月職員でのモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	3	1	職員間で再度、基本活動について考えていきたい。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0	管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	1	0	送迎時や電話連絡等で随時情報共有を行っています。また必要に応じてケース会議等の実施、参加を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	3	0	医療的ケアが常時必要な際は、連絡体制が整えられるようにしていきたい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	2	0	適宜、情報交換を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	3	1	現在、卒業生が少ないため、今後行っていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	1	今後、研修等に積極的に参加していきたい。
関係機関や保護者との連携	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	2	定期的な機会はないが、近隣の公園内での交流の機会は以前に比べて増えた。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	7	1	参加できる体制を整えていきたい。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	連絡帳や、送迎時、時には電話にて話が行えている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	3	0	送迎時や面談時に話をし支援へ繋げている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2	0	契約時に説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	3	0	知識不足で助言できない事があるため、研修等に参加し知識を得ていきたい。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	5	今後、検討していきたい。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	苦情相談窓口、第三者委員等配置しております。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	通信や、ブログにて発信を行っている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	鍵付きの棚にて、管理を行っている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	3	0	児童に合わせた支援を心掛けています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	3	0	ハロウィンイベントや地域のボランティアの方々との交流あり
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	1	職員への周知は行えているが、保護者への周知を行いたい
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3	0	年2回(災害、水災害)の訓練を定期的実施。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	入社時と年2回研修を実施。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	0	0	契約時に確認を行っている。
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	3	0	契約時に確認を行っている。
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2	0	ヒヤリハット時に職員で共有して話し合いを行っている。